

研究種目： 基盤研究(C)  
 研究期間： 2007～2009  
 課題番号： 19520209  
 研究課題名（和文） 『マージェリー・ケンプの書』とカルメル修道会：平信徒の霊的教育に関する写本研究  
 研究課題名（英文） *The Book of Margery Kempe and the Carmelites: Instruction of the Laity and the Carmelite Manuscripts*

研究代表者  
 久木田 直江 (KUKITA NAOË)  
 静岡大学・人文学部・教授  
 研究者番号： 00271693

研究成果の概要（和文）：教会分裂や異端問題に揺れた中世末に、カルメル会は国際的な知的エリート集団として活躍した。本研究では、15世紀初めにイングランドで活躍したトマス・ネッターとアラン・オブ・リンに焦点を当て、アランがマージェリーに行った聖書教育や霊的指導が管区長ネッターの不興を買ったいきさつを15世紀のカルメル会の霊性や活動、カルメル会の著作、典礼に関する図像的資料を通して検討し、カルメル会の霊的教育がマージェリー・ケンプに与えた影響を明らかにした。

研究成果の概要（英文）：Thomas Netter (d.1430), prior-provincial of the English Carmelites, was one of the most prominent figures in ecclesiastical politics and anti-Lollard campaigns. Margery Kempe records that Netter once imposed a ban on Alan of Lynn, forbidding him to answer any inquiries she might have relating to the Scriptures. Netter's ban on Alan reveals tension latent in the highly intellectual Order in terms of their pastoral commitment in the midst of religious turmoil. This research has reconstructed the Carmelite spiritual milieu and their pastoral commitment, and demonstrated how the female pursuit of the mixed life was shaped by the early 15<sup>th</sup> century's religious politics.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	700,000	210,000	910,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
2009年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	1900,000	570,000	247,000

研究分野：文学、宗教学、歴史

科研費の分科・細目：英米・英語圏文学

キーワード：中世英文学、キリスト教図像学、マージェリー・ケンプ、カルメル修道会、アラン・オブ・リン、トマス・ネッター, Felip Ribot, *Doctrinale antiquitatum fidei catholicae ecclesiae*

### 1. 研究開始当初の背景

『マージェリー・ケンプの書』(*The Book of Margery Kempe*, 以下 *BMK*)は、1934年の発見以来、平信徒の女性が残した稀有な書物として注目を集めたが、カトリック神学や教会史の研究者は、学僧ではなく市井の女性が口述した自伝という点からこの書物を軽視がちであった。しかし、1980年代からマージェリーの霊性や同書の特徴を14・15世紀の歴史的、文化的文脈から捉える研究、マージェリーの黙想を時祷書、宗教抒情詩、聖史サイクル劇、聖人伝、キリスト教図像学から読み解く研究、フェミニスト理論を応用した身体文化論的研究が欧米の研究者を中心に進んだ。

報告者はこれまで、キリスト教神秘主義思想の伝統のなかに同書を位置づけ、マージェリーの黙想を時祷書、宗教抒情詩、聖史サイクル劇、聖人伝、キリスト教図像学などから読み解き、同書が当時の宗教、社会、文化の鍵を握る重要な作品であることを論考した。その中には、スウェーデンの聖ブリジットの『啓示』の中英語写本 *Liber Celestis* と *BMK* の比較研究や、30年以上に亘り Margery の霊的指導者だったカルメル会の神学博士アラン・オヴ・リン(Alan of Lynn)が編纂した *Index made by Alan of Lynn for the Revelations, The Oxford Lincoln College MS Lat 69* に関する研究がある。最近の研究では、聖ブリジットの列聖審議における「諸霊の識別」の問題が *BMK* の成立過程に与えた影響を精査し、コンスタンツ及びバーゼル公会議での諸霊の識別をめぐる聖ブリジットの列聖問題や宗教書の検閲を命じたトマス・アランデルの *Constitutions* を検証して、*BMK* が宗教文学の検閲が行われた宗教改革前夜の緊張の中で口述筆記されたことを論考した。著書、*Margery Kempe's Meditations: The Context of Medieval Devotional Literature, Liturgy and*

*Iconography, Religion and Culture in the Middle Ages* (Cardiff: University of Wales Press, 2007)

では、これまでの研究を踏まえ、この自伝を神秘主義文学の黙想の伝統に位置づけて、新しい解釈を試みた。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、中世末のイギリスで托鉢修道会が平信徒に対して行った霊的教育が、平信徒マージェリーの神秘的霊性にどのように反映されているかを検証し、激動する中世末における神秘主義思想と平信徒の信仰の諸相をあぶり出し、さらに、平信徒の女性が英語で口述した『マージェリー・ケンプの書』の宗教文学としての意義を論考することにある。具体的には、中世末の社会や文化の重要な担い手であった四大托鉢修道会の一つであるカルメル会の霊性と活動に注目し、Thomas Netter of Walden の著作、*Doctrinale antiquitatum fidei catholicae ecclesiae*、Felip Ribot の神秘主義的著作 *Liber de institutione primorum*、及び、Carmelite Missal, London, British Library, MS Additional 29704-05 (『カルメル会ミサ典書』)などの研究を通して、マージェリー・ケンプの自伝の根幹にある神秘主義思想と中世末の平信徒の教育を、社会や宗教の動きとの連関において実証的に研究することを目的とした。

### 3. 研究の方法

*BMK* を、異端問題に揺れた14-15世紀の産物と捉え、托鉢修道会が政治や社会の問題に関与する中で、カルメル会の設立時からの理想である観想的神秘主義が平信徒マージェリーの霊的教育にいかん反映されているかを、以下の資料研究を通して論考した。

(1) 異端問題におけるカルメル会の動向を研究するために、イングランド管区長を務め

(1414-30)、コンスタンス公会議に出席した Thomas Netter of Walden の著作、*Doctrinale antiquitatum ecclesiae* を精査し、ロラード弾圧が強化される中、Netter が Alan 修道士に対しマージェリーに聖書や宗教書を読み解くことを禁じたことに内在する意味を、托鉢修道会の司牧と平信徒の霊的教育の点から研究した。

(2) 中世末の神秘主義思想に大きな影響を与えたカルメル会のカタロニア司教 Felip Ribot (d.1391)の *Liber de institutione primorum* を調査し、*BMK* と観想的霊性を説く同書の連関を検討した。

(3) 当時の政治問題、異端問題に加えて、カルメル会の観想的霊性が象徴的に描かれている *Carmelite Missal*, London, BL, MS Additional 29704-05 (『カルメル会ミサ典書』)の図像を調査・研究した。

#### 4. 研究成果

教会分裂や異端問題に揺れた中世末に、カルメル会は国際的な知的エリート集団として高い評価を得た。学僧の育成に加え、カルメル会修道士は政治や社会の問題に関与しつつ、積極的な司牧活動を行った。Richard Maidstone (d. 1396)の *The Seven Penitential Psalms* や Richard Lavenham (b.1340s-d.1399)の *A Litil Tretys on the Seven Deadly Sins* などの英語の著作が、ラテン語の読めない修道士や平信徒の霊的教育に貢献したことがそれを裏付ける。

本研究では15世紀の初めにイングランドで活躍した二人のカルメル会士に焦点を当てた。その一人は1414年から1430年にかけてカルメル会イングランド管区長を務めたトマス・ネッター (Thomas Netter of Walden, 1370-1430)である。ネッターは反ロラード・キャンペーンの論客として知られ、著作 *Doctrinale antiquitatum fidei catholicae*

*ecclesiae* はコンスタンツ公会議以降のカルメル会の活動に大きな影響を与えたが、また、その一方で、ノリッジの隠修女 Emma Stapleton の庇護者となり、女性の学問や観想的生活を奨励した。もう一人のカルメル会士はケンブリッジ大学出身の神学博士で、マージェリー・ケンプの霊的指導者でもあったアラン・オブ・リン (Alan of Lynn, d. 1432)である。アラン・オブ・リンは学問と司牧に生涯を捧げ、神秘主義思想や終末論にも関心をもち、スウェーデンの聖ビルギッタの『啓示』をはじめとする中世末の神秘主義的著作のインデックスを作成した。『マージェリー・ケンプの書』によると、アラン修道士がマージェリーに行った聖書教育や霊的指導が管区長ネッターの不興を買い、二人は面会を禁じられた。この出来事はマージェリーの視点に立った研究においてすでに指摘されているが、本研究では、ネッターの「禁止令」が15世紀のカルメル会の霊性や活動のなかでどのように位置づけられ、どのような意味を持つのかを精査した。

また、これと並行して、カタロニア司教をつとめたカルメル会士 Felip Ribot (d.1391)の神秘主義的著作、*Liber de institutione primorum monachorum (Decem libri de institutione et peculiaribus gestis religiosorum carmelitarum [Ten Books about the Institution and Notable Deeds of the Carmelite Religious]* 所収)の研究も行った。なぜなら、*BMK* の中で、晩年のマージェリーが「実践と観想の生活」(mixed life)に向かう様子が描かれているように、中世末のイングランドにおいて、信徒たちは自己と向き合い、内面を深めながら「いかに生きるべきか」を模索し、その結果、観想を重視した「実践と観想の生活」に辿りついたが、そこには托鉢修道会が行った平信徒への霊的教育が反映していると考えられるからで

ある。そもそも、観想的生活の希求は Walter Hilton 等の神秘主義文学に共通するテーマであるが、Ribot の *Liber de institutione primorum* が中世イギリス神秘主義思想に与えた影響は未だ十分研究されていなかった。本研究では同書が平信徒の霊的教育に果たした役割について、*BMK* を通して考察した。

また、本研究では The Carmelite Missal と呼ばれる写本 British Library, Additional 29704-5, 44892 の図像を検証し、同写本に異端問題を中心とした宗教界の動向、観想的神秘主義思想についての重要な情報が含まれていることが明らかとなった。

以上、本研究では、現在のイギリス神秘主義文学研究において十分に研究されていないカルメル会の霊性、著作、及び司牧活動を精査し、カルメル会士が平信徒マージェリーに与えた霊的教育が自伝にいかんにか反映されているかを検討した。カルメル会士の著作の研究を通して、中世末の平信徒の霊的教育とマージェリー・ケンプの自伝の連関を明らかにすることで、「実践と観想の生活」の追求に新たな光を当てることができた。中世キリスト教社会の精神性の遺産として現代に引き継がれている「実践と観想の生活」に関連する本研究は、現代の諸問題にも新たな視座を与えるといえるだろう。

研究成果は International Medieval Congress, Leeds 2009 において、'Hammer of Heretics: Thomas Netter, O. Carm.—A Round Table Discussion' で招待発表を行い、また、日本中世英語英文学会・全国大会（2009）で口頭発表した。さらに、2 編の論文（英文）がイギリスで出版される論文集に掲載される予定である。['Carmelite Spirituality and the Instruction of the Laity in Late Medieval England: Thomas Netter and Alan of Lynn in *The Book of Margery Kempe*' in Catherine

Innes-Parker and Naoë Kukita Yoshikawa (eds), *Mapping Medieval Anchorhold* (Cardiff: University of Wales Press, 2012 forthcoming); 'Margery Kempe and Felip Ribot's *Liber de institutione primorum monachorum*', in Johan Bergström-Allen (ed.), *Carmel in Britain: Studies on the Early History of the Carmelite Order*, vol. 6 (Faversham, Kent: St Albert Press, 2012, forthcoming)]

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 8 件）

1. Naoë Kukita Yoshikawa, 'Carmelite Spirituality and the Instruction of the Laity in Late Medieval England: Thomas Netter and Alan of Lynn in *The Book of Margery Kempe*' in Catherine Innes-Parker and Naoë Kukita Yoshikawa (eds), *The Anchorhold and Beyond: Solitude, Sanctity and Devotion, Religion and Culture in the Middle Ages* (Cardiff: University of Wales Press, 2012 forthcoming). 査読有
2. Naoë Kukita Yoshikawa, 'Margery Kempe and Felip Ribot's *Liber de institutione primorum monachorum*', in Johan Bergström-Allen (ed.), *Carmel in Britain: Studies on the Early History of the Carmelite Order*, vol. 6 (Faversham, Kent: St Albert Press, 2012, forthcoming). 査読有
3. Naoë Kukita Yoshikawa, 'The Making of *The Book of Margery Kempe*: The Issue of *Discretio Spirituum* Reconsidered', *English Studies: Journal of English Language and Literature* (2011 forthcoming). 査読有
4. Naoë Kukita Yoshikawa, 'Medicine and Holy Communion in the *Vita* of Marie d'Oignies and *The Book of Margery Kempe*', *Poetica* 72 (2009), 109-22. 査読有
5. 久木田直江, 「ランカスター公ヘンリーの『聖なる治癒の書』—中世末の霊性と病の治療—」『西洋中世研究』創刊特集号 (2009年12月)、30-41頁。査読有
6. Naoë Kukita Yoshikawa, 'Holy Medicine and Diseases of the Soul: Henry of Lancaster and *Le Livre de Seyntz Medicines*', *Medical History: A European Journal for the History of Medicine and Health*, 53 (2009), 397-414. 査読有
7. 久木田直江, 「中世を旅する女性—越境する霊性」『中央評論』(中央大学) 特集企画「越境する西洋中世」2008年度冬号

(2009年1月)、29-35頁。

8. 久木田直江、「神秘主義文学/ Middle English Mystics」、『中世イギリス文学入門—研究と文献案内』高宮利行・松田隆美編(雄松堂、2008年)、117-26頁。査読有
- [学会発表] (計11件)
1. 2009年11月28日 第15回日本中世英語英文学会全国大会、慶応義塾大学(日吉校舎)「中世末のイギリスにおけるカルメル会の霊性と平信徒教育についての一考察」
  2. 2009年7月14日 International Medieval Congress, University of Leeds, UK, 'Religion and Medicine: Henry of Lancaster and *Le Livre de Seyntz Medicines*'
  3. 2009年7月14日 International Medieval Congress, University of Leeds, UK, 'Hammer of Heretics: Thomas Netter, O. Carm.—A Round Table Discussion'
  4. 2009年6月28日 西洋中世学会第1回シンポジウム 東京大学・駒場キャンパス講師「ランカスター公ヘンリーの『聖なる治癒の書』—中世末の霊性と病の治療—」
  5. 2008年12月14日 平成20年度科学研究費補助金(基盤研究B)「薬の倫理学と薬剤師の教育プログラムの構築および薬の歴史文化論的研究」研究会、スギ薬局東京研修所、「天上の薬と世俗の薬—中世ヨーロッパの医療」
  6. 2008年9月16日 3rd International Anchoritic Society Symposium, Mapping Medieval Anchorhold: Dialogue between East and West, Hiroshima Shudo University, 'Medicine and Holy Communion in the *Vita* of Marie d'Oignies and *The Book of Margery Kempe*'
  7. 2008年7月9日 International Medieval Congress, University of Leeds, UK, 'The Perception of Divine Nature and Bride Mysticism: Marie d'Oignies and Margery Kempe'.
  8. 2008年5月24日 第80回日本英文学会全国大会・広島大学シンポジウム第五部門「ヨーロッパ中世の神秘主義—霊性とナラティヴ」司会・講師、「神秘を綴るコミュニティー—中世末の女性神秘家の著作から」
  9. 2007年12月19日 招待講演、University of Lausanne, 'The Making of *The Book of Margery Kempe*: The Issue of *Discretio Spirituum* Reconsidered'
  10. 2007年7月10日 International Medieval Congress, University of Leeds, UK, Celebrating 800 Years of the Carmelites, III:

The Rule of St Albert, 'How Might Margery Kempe Have Read Felip Ribot's *Liber de institutione primorum monachorum*?'

11. 2007年4月12日 International Anchoritic Society Symposium, Glenstal Abbey, Limerick Co. Ireland, 'The Making of *The Book of Margery Kempe*: The Issue of *Discretio Spirituum*, Lollardy and Gender'

[図書] (計4件)

1. Catherine Innes-Parker and Naoë Kukita Yoshikawa (eds), *The Anchorhold and Beyond: Solitude, Sanctity and Devotion*, Religion and Culture in the Middle Ages (Cardiff: University of Wales Press, 2012 forthcoming). 査読有
2. Denis Renevey and Naoë Kukita Yoshikawa (eds), *Poetica: An International Journal of Linguistic-Literary Studies*, 72, Special Issue: 'Convergence /Divergence: The Politics of Late Medieval English Devotional and Medical Discourses' (December 2009) 査読有
3. 久木田直江(共訳者・石井美樹子)『「マージェリー・ケンプの書」イギリス最古の自伝』(久木田直江、解題『「マージェリー・ケンプの書」』)(慶應大学出版会、2009年) 査読有 平成20年度科研費補助(研究成果公開促進費)交付
4. Naoë Kukita Yoshikawa, *Margery Kempe's Meditations: The Context of Medieval Devotional Literature, Liturgy, and Iconography*, Religion and Culture in the Middle Ages (Cardiff: University of Wales Press, 2007). 査読有

6. 研究組織

- (1)研究代表者  
久木田直江 (KUKITA NAOË)  
静岡大学・人文学部・教授  
研究者番号: 00271693

(2)研究分担者

(3)連携研究者